

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	壬生町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	おもちゃのまち未来構築事業	総事業費				2,792,004	4,331,584	7,123,588
		うち市町支出額				2,748,370	4,331,584	7,079,954
		うち県交付金				1,374,185	1,500,000	2,874,185
2	「城下町壬生」活性化事業	総事業費					798,990	798,990
		うち市町支出額					798,990	798,990
		うち県交付金					399,495	399,495
3		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	0	0	0	2,792,004	5,130,574	7,922,578
		うち市町支出額	0	0	0	2,748,370	5,130,574	7,878,944
		うち県交付金	0	0	0	1,374,185	1,899,495	3,273,680

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	壬 生 町
事 業 名	おもちゃのまち未来構築事業
事業主体の名称	壬生町観光協会
代表者の名称	会長 小菅 一弥
事業主体の所在	壬生町大字壬生甲3841番地1
事業主体の概要	・団体の目的:「観光事業の発展」と「魅力あるふるさとづくり」を進め、「地域住民の福祉向上」と「地域産業の振興及び郷土文化の発展」を図る ・設立年月日:昭和63年2月 ・構成員等:加入を希望する町内事業者及び個人
当該事業に係る地域の現状と課題	おもちゃのまち地区は、玩具メーカーが集積する「おもちゃ団地」と周辺の住宅地及び商店街等で成り立つ、本町の中心市街地であるが、企業の海外流出、及びロードサイドにおける大型商業施設の進出等の影響から、「らしい活気」が失われつつある。
事業目的	一住宅地として埋没しつつある本地区を、全国的にも珍しい町名として認識されつつある「おもちゃのまち」として、地域ならではの特色を活かした街並みづくりを進めるとともに、回遊性の向上に資する事業展開及びPR強化を図ること、住みたい、働きたい、自分の誇りと思える街へとベクトルを軌道修正し、次代における街の担い手確保に努める。 特に、本地区で製造された数々のおもちゃ達が、日本全国はもとより、世界各地において子どもたちの夢、希望、幸せを作り続けてきた歴史を、地域の子どもたちが日常的に認識でき、地域に対する愛着や誇りの醸成が図れる観点で、事業進捗を図って参りたい。
事業概要	【1. らしい街並みづくり推進事業】 地域活性化の担い手であるおもちゃのまち遊々創生ワーキング(R3～5わがまちつながり構築事業補助対象事業者)、及びおもちゃ団地協同組合等と連携し、「おもちゃのまち感」あふれ来訪者の満足感を得られるコンテンツを街の各所へ配置する。 ワーキングや他事業で実施してきたコンテンツと共におもちゃのまちらしい街並みづくりをより一層推進する。 A 実施中事業 ①商店街フラッグ設置 ・ワーキングで作成、設置 ②ガンダムマンホールプロジェクト ・㈱バンダイ等と連携し、ここにしかない2基のガンダムマンホールを設置 B おもちゃのまち駅・おもちゃのまち化推進事業 本地区の拠点である、おもちゃのまち駅及び周辺において、以下を実施する。 ・おもちゃ団地立地、関連企業のおもちゃ、キャラクターをモチーフとしたエレベーター等(※)ラッピング 令和6年度に駅エレベーターのラッピングを行ったところ、数多くのおもちゃのまち駅におけるSNS等での情報発信が展開された。 ・上記事業を受けて、東武鉄道側としても本事業に参画したい旨の申出があり、令和7年度は東武鉄道側と本協会とが連携し、駅自体のラッピングに着手した。(駅待合室(東武鉄道側所有、管理)を町観光協会が、それ以外の駅外壁を東武鉄道側が実施した。)(R7年度実施) 【2. 地域、事業者と連携した回遊性向上、PR促進事業】 A 実施中事業との連携強化 ①東武健康ハイキング(東武トップツアーズ側事業)における連携強化 ・1. らしい街並みづくり推進事業等で充実度を高めたおもちゃのまち地区において回遊ルートを設定し、「おもちゃのまちにきた感、おもちゃのまちに来てよかった感」を向上させ、もっと回ってみようか感を生み出すとともに、SNS等への掲載を促し、地区のPRへと繋げる。 ②おもちゃ団地チャリティバザーとの連携強化【R7年度実施】 ・店舗設置等に関連する開催業務の円滑な運営を支援した。 ・町内外から多数の来客が見込まれる本イベントにおいてプロモーション活動を強化し、SNS等による広報活動を行った。 B おもちゃのまちインスタフォトコンテスト ・おもちゃのまちの魅力を知ってもらうとともに、地区のPRに繋げることを狙う。 C おもちゃのまち・道の駅みぶスタンプラリー ・おもちゃのまち、及びシルバニアファミリーをモチーフとして看板表記等のリニューアルを進めている。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標2】壬生町へ新しいひとの流れをつくる 【KPI】 町内の東武鉄道駅乗降客数 7,045人(H30)→7,300人(R7)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳				(単位:円)	
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	箇条書きで記載	1. らしい街並みづくり推進事業 B おもちゃのまち駅・おもちゃのまち化推進事業 エレベーターラッピング ・内容検討会開催 ・ラッピング等実施 ・同お披露目会開催 ・SNS等による広報活動 2. 地域、事業者と連携した回遊性向上、PR促進事業 A 実施中事業との連携強化 ②おもちゃ団地チャリティバザーとの連携強化 ・店舗設置等に係る開催運営支援 ・SNS等による広報活動	1. らしい街並みづくり推進事業 B おもちゃのまち駅・おもちゃのまち化推進事業 駅構内の休憩所等のラッピング ・ラッピング等実施 ・同お披露目会開催 ・SNS等による広報活動 2. 地域、事業者と連携した回遊性向上、PR促進事業 A 実施中事業との連携強化 ②おもちゃ団地チャリティバザーとの連携強化 ・店舗設置等に係る開催運営支援 ・SNS等による広報活動		2. 地域、事業者と連携した回遊性向上、PR促進事業 ・東武健康ハイキング連携 ・チャリティバザー連携 ・インスタフォトコン開催 ・スタンプラリー開催 3. 小中学校の児童生徒・地域事業者連携事業 ・まちづくりグループワーキング等開催 →おもちゃのまち駅・おもちゃのまち化検討等
事業費		2,792,004	4,331,584	7,123,588	183,000
市町支出金(ソフト事業分)		2,748,370	4,331,584	7,079,954	180,000
うち県交付金		1,374,185	1,500,000	2,874,185	90,000
市町支出金(ハード事業分)		0		0	0
うち県交付金		0		0	0
その他自主財源等	0	43,634	0	43,634	3,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもちゃのまち未来構築事業	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	4,331,584	
雑入	0	預金利子等
計	4,331,584	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
1. 委託料	1,500,330	1,500,330	381,880	0	チャリティバザー運営委託
2. 印刷製本費	1,735,690	1,735,690	867,845	0	おもちゃのまち駅 ラッピング印刷費(設置費込)
3. 工事請負費	1,027,780	1,027,780	250,275	0	駅構内休憩所 ベンチ設置工事
4. 消耗品費	19,184	19,184		0	おもちゃのまち駅 イルミネーション消耗品
4. 食糧費	48,600	48,600		0	式典来賓用弁当代
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	4,331,584	4,331,584	1,500,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	「城下町壬生」活性化事業
事業主体の名称	壬生町観光協会
代表者の名称	会長 小菅 一弥
事業主体の所在	壬生町大字壬生甲3841番地1
事業主体の概要	・団体の目的:「観光事業の発展」と「魅力あるふるさとづくり」を進め、「地域住民の福祉向上」と「地域産業の振興及び郷土文化の発展」を図る ・設立年月日:昭和63年2月 ・構成員等:加入を希望する町内事業者及び個人
当該事業に係る地域の現状と課題	・「城下町地区」では、年々空き店舗、空き地が増加している。 ・店舗経営者の高齢化が進み、街の活性化、誘客に向けた自主的な動きは極めて限定的である。 ・城下町壬生のシンボルと言える「かんびょう」の作付けを行う農家は減少の一途をたっており、野州かんびょう発祥の地壬生としても、国産かんびょうの生産をほぼ一手に引き受ける栃木県としても、歴史的資産を失いつつある現状と言える。
事業目的	1. 大阪万博(栃木県ブース)において、「サビかん(ワサビ入りかんびょう巻き)」の販売と、販売に関連して展開する各種PR活動を通じて「かんびょうの城下町 壬生」としての知名度を向上させ、本町への観光客の呼び込み、及び関係人口の拡大を図る。 2. 万博での活動、PR効果を起爆として、既存の「お殿様料理」、「みぶブランド」等の活用も含めたツアー等を展開し、具体的に城下町壬生への誘客を図る。 なお、ツアー等万博レガシー事業については、壬生城址公園におけるイベントや桜まつり、リニューアルが進む道の駅、藍染事業者、及び万博本県出店者との連携も視野に入れ、城下町らしい味わいの提供を旨とする中で、外国人観光客を含めた来町者数の増加と、また来たい壬生町の実現に寄与する。
事業概要	【令和7年度】 【1. 大阪万博出店事業(城下町壬生PR事業)】 A 6月27,28,29の3日間、栃木県ブースにおいてサビかんの販売を実施した。 ・県の総合プロデューサーとの調整を経て、出店事業者とともにサビかん等を製造、販売した。 ・町からは、壬生お殿様料理促進の会(調理人)、みぶブランド認定事業者(かんびょう問屋)が参加。 B お殿様料理及びかんびょう生産に関するPRパネルを展示した。 ・上記PRパネルの他、町内小中学校におけるかんびょうに関する研究結果パネルを展示した。 C 県内メディア各社との連携等による宣伝活動 ・事前の宣伝活動として、県内の新聞社、テレビ局等と連携して販売及びPRの実施について周知を図った。 ・町観光協会SNS等での宣伝活動を実施した。 D 「お殿様」等との連携 ・壬生藩と縁ある「お殿様」等とともに歴史(歴史に由来する食事)、栃木県及び壬生町の歴史的資産、観光資産等のPR活動を実施した。 【令和8年度以降】 【2. 万博レガシー事業(城下町壬生誘客事業)】 A 小中学生とも行かんびょうPR研究(次世代との交流、城下町壬生への理解促進等) ・オンラインにて町内小中学生と万博会場を繋ぎ、会場視察及び様々な交流を図る計画があり、会場には、当該小中学生によるかんびょう等に関する研究結果のパネルを設置予定となっている。それら経験を踏まえ、改めて、小中学生ともにかんびょう、お殿様料理、及び町の歴史的資産のPR等について研究を行う。 B 歴史にまつわるツアーの開催 ・ランチ(半日)ツアーの開催 A事業の結果も活かしつつ、県内在住の外国人観光客等を招き、お殿様料理、藍染体験、歴史民俗資料館等の案内等を内容としたツアーを開催する。 ・万博(本県ブース)出店者と連携した食のイベントの開催 近隣市町の事業者との連携しつつ、万博での販売物等を提供する食のイベントを開催する。 →既存の城址公園等を舞台としたイベントとのタイアップ等による開催 →出店者(飲食店)において、万博提供メニューや、それらを取り込む形で歴史的資産のPRに資する新たなメニューの提供 ・かんびょうをモチーフとした御城印の作成
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本姿勢7-D】みんなが集まるにぎわう交流のまちづくり 【KPI】東武宇都宮線 壬生駅1日あたりの平均乗降者数 R5 2,037名 → R9 2,138名(5%増) 歴史民俗資料館入館者数 R6 5,856名 → R9 6,148名(5%増)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳				(単位:円)	
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	箇条書きで記載		1. 大阪万博出店事業 (城下町壬生PR事業) ・サビかん等販売 ・城下町壬生PRパネル作成 ・メディア、SNSによる宣伝、広報活動 ・「お殿様」等連携事業 ・PR動画作成費		2. 万博レガシー事業 (城下町壬生誘客事業) ・ランチ(半日)ツアー開催 ・万博(本県ブース)出店者と連携した食のイベント開催 ・かんびょうをモチーフとした御城印作成
事業費			798,990	798,990	400,000
市町支出金 (ソフト事業分)			798,990	798,990	400,000
うち県交付金			399,495	399,495	200,000
市町支出金 (ハード事業分)			0	0	0
うち県交付金			0	0	0
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「城下町壬生」活性化事業	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	798,990	
雑入	0	預金利子等
計	798,990	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
1. 旅費	598,670	598,670	299,335	0	壬生お殿様料理認定事業者等計6名の交通費、宿泊費
2. 消耗品費	60,320	60,320	30,160	0	・壬生産かんぴょう代 ・会場業務従事時用の浴衣購入費(2名分) ・発表する地元小学生用のフェイスシール
3. 委託料	140,000	140,000	70,000	0	・PR動画作成費 ・販売商品開発費(2事業者)
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	798,990	798,990	399,495	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合